

## 平成30年度 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会 (第13回)

期 日：平成30年5月24日(木)～26日(土)

場 所：電気通信大学

東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

主 催：独立行政法人大学入試センター

共 催：電気通信大学

後 援：文部科学省、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会、  
日本私立大学団体連合会、全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会

日 程：

日 程	プログラム	時 間	会 場
5月24日 (木)	全体会1 「入試担当者(アドミッション・オフィサー)の育成課題」	14:00～17:30	講堂
5月25日 (金)	主催者挨拶, 来賓挨拶	9:00～9:30	講堂
	全体会2 「大学入学共通テストの導入に向けた準備状況と試行調査(プレテスト)について」	9:30～12:30	
	全体会3 「個別選抜における多面的・総合的評価」	14:00～17:00	
5月26日 (土)	研究会(第1部)		
	第1セッション	9:30～12:00	B棟202講義室
	第2セッション	9:30～12:00	B棟201講義室
	第3セッション	9:30～12:00	B棟102講義室
	第4セッション	9:30～12:00	B棟101講義室
	研究会(第2部)		
	第5セッション	13:30～16:20	B棟202講義室
	第6セッション	13:30～16:20	B棟201講義室
	第7セッション	13:30～16:40	B棟102講義室
	第8セッション	13:30～16:20	B棟101講義室
大学入学者選抜改革エキスポ		9:30～12:00	講堂
		13:30～16:40	

※ 上記のほか、5月26日(土)に「文部科学省大学教育再生加速プログラム(A.P)テーマⅢ」についてポスターセッションをB棟ホールにて開催

## 注意事項

1. 受付は毎日行いますので御協力ください。
2. 次年度以降の参考のためアンケート用紙を配付しますので、御協力をお願いします。
3. 全体会2及び3において質問がある方は、質問用紙に御記入の上、会場係員にお渡しください。
4. 本大会では、できるだけ自由な討議を交わすため、撮影・録画・録音等は御遠慮ください。
5. 研究会の会場は、参加人数により変更する場合がありますので、当日の案内に御注意ください。
6. 会場にクローク等の用意はございません。大きな荷物の持ち込みは御遠慮ください。
7. 広報担当者が大会の様態を撮影させていただきます。撮影した写真や動画は、大学入試センターのホームページや報告書等に掲載することがありますので、御承知おきください。

# 全体会 1

## 「入試担当者(アドミッション・オフィサー)の育成課題」

日 時 : 平成30年5月24日(木) 14:00~17:30

会 場 : 電気通信大学 講堂

司 会 : 山地弘起(大学入試センター試験・研究副統括官)

パネリスト及びサブテーマ:

- ①「米国における入試担当者の位置づけと役割」  
..... Jim Rawlins (オレゴン大学副学長補佐・入試部長  
/大阪大学特任教授)
- ②「阪大アドミッションオフィサー(HAO)育成プログラム:背景・現状・課題」  
..... 川嶋太津夫(大阪大学教授)
- ③「アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会:その狙いとプログラム評価」  
..... 木村拓也(九州大学准教授)
- ④「アドミッション担当教職員支援セミナー:ねらいと課題」  
..... 夏目達也(名古屋大学教授)

指 定 討 論 : 山本以和子(京都工芸繊維大学准教授)  
志村知美 (追手門学院大学教務部アサーティブ課課長  
アサーティブオフィサー)

内 容 :

高大接続改革が進行するなかで、各大学の入試担当部署の役割が大きくなっている。しかし、入試担当者の専門性やキャリアパス等について日本では十分な検討が行われておらず、適切な能力の枠組や十分な研修機会がないまま、担当者は手探りで日々の業務に対応している状況ではないだろうか。そこで本セッションでは、入試担当者対象の先駆的な研修実践を報告し、それぞれの特徴と課題を共有しながら、入試担当者の役割と育成研修のあり方について議論する。

## 全体会 2

# 「大学入学共通テストの導入に向けた準備状況と試行調査 (プレテスト) について」

日 時 : 平成30年5月25日 (金) 9:30~12:30

会 場 : 電気通信大学 講堂

司 会 : 浅田和伸 (大学入試センター理事)  
椿美智子 (電気通信大学副学長)

報 告

① 「大学入学共通テストへの準備状況 (仮)」

..... (文部科学省)

② 「試行調査 (プレテスト) の結果概要」

..... 大杉住子 (大学入試センター審議役)

パネルディスカッション

島田康行 (筑波大学教授)

塩瀬隆之 (京都大学准教授)

木谷雅人 (国立大学協会常務理事・事務局長)

宮本久也 (東京都立八王子東高等学校長)

古沢由紀子 (読売新聞東京本社論説委員)

内 容 :

センター試験の後継となる「大学入学共通テスト」の実施方針(2017年7月)を踏まえて、マーク式問題の見直し、記述式問題の導入、英語4技能の資格・検定試験の活用について具体的な検討が進められている。昨年11月には全国約1,900校、延べ約19万人の高校2、3年生が参加した試行調査(プレテスト)が実施され、また本年2月~3月には「英語」のリーディングとリスニング、「国語」と「数学」の点字問題についても試行調査(プレテスト)が行われた。さらに、本年11月には大学を試験会場として10万人規模の試行調査(プレテスト)が予定されている。

本セッションでは、こうした準備状況を整理して報告するとともに、これまでの試行調査(プレテスト)の結果を共有し、議論する。

## 全体会 3

### 「個別選抜における多面的・総合的評価」

日 時 : 平成30年5月25日(金) 14:00～17:00

会 場 : 電気通信大学 講堂

司 会 : 山路浩夫(電気通信大学教授)  
大津起夫(大学入試センター試験・研究統括官)

パネリスト及びサブテーマ:

- ①「なぜ16種類の入試を行なうか」  
..... 中津将樹 (国際教養大学入試室長)
- ②「関西国際大学における多面的・総合的評価の開発  
～言語運用力と数理分析力テストの活用の可能性～」  
..... 濱名 篤 (関西国際大学長)
- ③「東京大学の推薦入試は何をみているのか」  
..... 濱中淳子 (東京大学教授)

指定討論: 西郡大 (佐賀大学教授)  
大村勝久 (静岡県立浜松北高等学校教諭)

内 容 :

各大学の入学者選抜において、「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を含めた多面的・総合的な評価の課題が重くのしかかっている。評価方法の工夫のみならず,各種入試の構成や時期の設定,評価担当者の確保等も検討する必要がある,加えて評価方法をアドミッションポリシーと整合する形でわかりやすく提示することも求められる。そこで本セッションでは,多面的・総合的評価を実施しているいくつかの事例を共有し,各大学での創造的な入試デザインに寄与する。

# 研 究 会

## 【第1セッション】〔多面的・総合的評価〕

日 時：5月26日（土）9：30～12：00  
会 場：電気通信大学 B棟202講義室  
司 会：山路 浩夫（電気通信大学）  
山村 滋（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「一般入試における「主体性等」評価に向けた評価支援システムの開発」  
西郡 大，園田 泰正，兒玉 浩明（佐賀大学）

② 9：50～10：10

「「主体性等」を評価する一般入試の制度設計と成績開示等対応の検討」  
植野 美彦（徳島大学），西郡 大（佐賀大学）

③ 10：10～10：30

「理工系大学における多面的・総合的評価と出願提出書類の活用  
——一般選抜における調査書活用の可能性を中心に——」  
山路 浩夫，椿 美智子，湯山 加奈子（電気通信大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「大学入学選抜における調査書活用に向けた課題（2）  
——調査書記載事項の活用可能性——」  
脇田 貴文，北原 聡，伊藤 博介，井村 誠，中田 隆（関西大学）

⑤ 11：00～11：20

「多面的・総合的評価の実現に向けて  
——Web出願システムのあり方——」  
井ノ上 憲司，山下 仁司，川嶋 太津夫（大阪大学）

⑥ 11：20～11：40

「多面的・総合的評価の実現に向けて  
——入試専門家育成のあり方——」  
石倉 佑季子，川嶋 太津夫，山下 仁司（大阪大学）

⑦ 11：40～12：00

「入学後追跡調査のための学修成果評価の研究  
——入試と大学教育の接続のあり方——」  
和嶋 雄一郎，山下 仁司，川嶋 太津夫（大阪大学）

## 【第2セッション】〔A0入試, 推薦入試〕

日 時：5月26日（土）9：30～11：40  
会 場：電気通信大学 B棟201講義室  
司 会：倉元 直樹（東北大学）  
      荘島 宏二郎（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「分散評価システムの開発と導入  
——薬学部A0入試における書類審査での活用事例から——」  
関 陽介, 植野 美彦, 澤田 麻衣子, 石田 竜弘（徳島大学）

② 9：50～10：10

「国立大学における推薦入試の課題に関する一考察  
——アンケート結果から——」  
橋 春菜, 永野 拓矢, 石井 秀宗（名古屋大学）

③ 10：10～10：30

「推薦・A0入試の選抜スケジュールに関する一考察 ——高校現場に与える影響からの検討——」  
竹内 正興（鹿児島大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「新ガリレオ入試で入学した学生の入学後の検証  
——質的調査と学部別での比較——」  
菊池 明泰, 塚越 久美子, 碓山 恵子, 細川 和彦, 石田 眞二（北海道科学大学）

⑤ 11：00～11：20

「A0入試の実施における「学力の3要素」の関連付け  
——メディア芸術分野での私立大学A0入試実施事例を手がかりに——」  
齋藤 保男, 大久保 真道, 吉野 弘章（東京工芸大学）

⑥ 11：20～11：40

「高大接続改革への対応に関する高校側の意見  
——自己採点利用方式による第1次選考, 認定試験及び新共通テスト記述式問題の活用——」  
倉元 直樹, 長濱 裕幸（東北大学）

### 【第3セッション】〔入試制度，追跡調査，英語資格・検定試験〕

日 時：5月26日（土）9：30～12：00  
会 場：電気通信大学 B棟102講義室  
司 会：杉原 敏彦（広島大学）  
      荒井 清佳（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「九州工業大学における入試区分毎の PROG・GPA を用いた追跡調査と制度設計」  
安永 卓生，山本 鉦，藤江 美奈，播磨 良輔，山下 修充（九州工業大学）

② 9：50～10：10

「私立大学教員養成学部における入試区分と卒業後の進路との関連」  
竹内 聖彦（相山女学園大学）

③ 10：10～10：30

「高校での学習成績の状況と大学入学後の成績との関連性」  
宮下 伊吉，飯田 和生（三重大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「インターネットを介した入学前教育「高知大学入学前 moodle」  
——アドミッション・ポリシーに関する「自己評価」への試み——」  
大塚 智子，喜村 仁詞（高知大学）

⑤ 11：00～11：20

「追跡データにみる入学者選抜と「学士力」指標の関連性について  
——琉球大学を事例として——」  
山田 美都雄（琉球大学）

⑥ 11：20～11：40

「国立大学の入学者選抜における英語外部検定試験の活用について  
——広島大学を事例に——」  
杉原 敏彦，高地 秀明，永田 純一（広島大学）

⑦ 11：40～12：00

「資格・検定試験における長文読解用英文の難易度比較」  
秦野 進一（東北大学）

## 【第4セッション】〔高大接続, 高大連携〕

日 時：5月26日（土）9：30～12：00  
会 場：電気通信大学 B棟101講義室  
司 会：雨森 聡（静岡大学）  
伊藤 圭（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「琉球大学アドミッションセンターが進める高大接続事業  
——北米・ハワイ調査の知見をふまえて——」

山田 恭子, 保坂 雅子, 盛山 泰秀, 山田 美都雄, 天野 智水,  
鹿内 健志, 高山 千利, 多和田 実, 山城 新（琉球大学）

② 9：50～10：10

「早期合格者に対する入学前教育 ——鳥取大学での15年間の実践——」

森川 修, 山田 貴光, 小山 勝樹, 小倉 健一, 古塚 秀夫（鳥取大学）

③ 10：10～10：30

「新潟大学における奨学金制度の検討 ——入学前予約型奨学金を中心に——」

吉田 章人, 並川 努, 坂本 信（新潟大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「高大接続に必要なこととそのデザイン

——静岡県における工学系の高大接続事例をもとに——」

雨森 聡, 宇佐美 壽英, 藤井 朋之（静岡大学）

⑤ 11：00～11：20

「高等学校における数学および理科の履修状況に関するアンケートの分析」

平井 佑樹, 高野 嘉寿彦, 小山 茂喜（信州大学）

⑥ 11：20～11：40

「「言語活動の充実」によって高校までの「書く」学習の機会は増えたか

——大学新生を対象とする定点調査——」

渡辺 哲司（文部科学省）, 島田 康行（筑波大学）

⑦ 11：40～12：00

「A0入試における高校生の理数系分野の主体的活動事例と評価」

進藤 明彦（神戸大学）



## 【第5セッション】〔調査書, パフォーマンス評価〕

日 時：5月26日(土) 13:30～16:20  
会 場：電気通信大学 B棟202講義室  
司 会：吉村 宰(長崎大学)  
林 寛子(山口大学)

発 表：

① 13:30～13:50

「高校調査書の評定平均値は何を予測できるのか  
——指定校推薦入試の事例分析——」  
日下田 岳史, 福島 真司(大正大学)

② 13:50～14:10

「入学者選抜における調査書の活用について」  
吉村 宰, 花堂 奈緒子(長崎大学)

③ 14:10～14:30

「調査書得点が一般入試に及ぼす影響」  
永野 拓矢, 橘 春菜, 石井 秀宗(名古屋大学)

④ 14:30～14:50

「山口大学の一般入試における高校調査書活用の可能性」  
林 寛子(山口大学)

(14:50～15:00 休憩)

⑤ 15:00～15:20

「調査書の記述内容についての検討  
——パーソナリティに関する記述に注目して——」  
並川 努, 吉田 章人, 坂本 信(新潟大学)

⑥ 15:20～15:40

「A0・推薦入試を見据えた文系パフォーマンス評価  
——社会科目のパフォーマンス課題の実践——」  
中切 正人, 橋本 康弘(福井大学), 宮下 伊吉(三重大学),  
雨森 聡(静岡大学), 大久保 貢(福井大学)

⑦ 15:40～16:00

「高校生による科学研究発表会の状況」  
檜田 豪利(東北大学)

⑧ 16:00～16:20

「福島県における高校生のサービス・ラーニングと「社会貢献活動コンテスト」」  
前川 直哉(福島大学)

## 【第6セッション】〔入試方式，選抜方法，CBT〕

日 時：5月26日（土）13：30～16：20  
会 場：電気通信大学 B棟201講義室  
司 会：福島 真司（大正大学）  
石岡 恒憲（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「新しい入学者選抜法への試み

——合コン・高校採点・自己採点・大学オファー・大高接続・中大接続・外部面接員——」

本多 正尚（筑波大学）

② 13：50～14：10

「入学者選抜における括り入試の状況と評価について

——地域・系統・入試別募集定員，高等学校教員への調査を踏まえて——」

三宅 貴也（電気通信大学）

③ 14：10～14：30

「入試科目、受験倍率が入学者のコンピテンシー・リテラシーに与える影響を巡って」

福島 真司，日下田 岳史（大正大学）

④ 14：30～14：50

「国公立大学における大学入試センター試験の選抜機能」

石上 正敏，倉元 直樹（東北大学）

（14：50～15：00 休憩）

⑤ 15：00～15：20

「大学入試問題（国語）の出題形式と成績の関係 ——高校生を対象にした調査から——」

宮本 友弘，田中 光晴，庄司 強（東北大学）

⑥ 15：20～15：40

「タブレットを用いた「基礎学力・学習力テスト」の開発と実施結果」

西郡 大，園田 泰正，兒玉 浩明（佐賀大学）

⑦ 15：40～16：00

「高大接続を視野に入れたタブレットを用いる評価問題の試作(3)

——ペーパーテストとの比較——」

安野 史子（国立教育政策研究所），柳澤 秀樹（駒場東邦中学校高等学校），

山下 卓弥（富山県立富山中部高等学校），高木 繁（名古屋工業大学），

中島 範行（富山県立大学），林 誠一（富山県立砺波高等学校），松原 静郎（桐蔭横浜大学）

⑧ 16：00～16：20

「「情報科」大学入学者選抜のための CBT システム開発と模試の実施」

西田 知博（大阪学院大学），植原 啓介（慶應義塾大学），

角谷 良彦（東京大学），中野 由章（神戸市立科学技術高等学校）

## 【第7セッション】〔入試広報〕

日 時：5月26日（土）13：30～16：40  
会 場：電気通信大学 B棟102講義室  
司 会：船橋 伸一（富山大学）  
        大津 起夫（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「国立大学のインターネット出願システム導入状況 ——鳥取大学でのシステム導入に向けて——」  
小山 勝樹（鳥取大学）

② 13：50～14：10

「オープンキャンパスで変わる参加者の志望順位  
——オープンキャンパスの広報効果の測定手法の提起——」  
野口 将輝（小樽商科大学）

③ 14：10～14：30

「進学希望の変化に与えるオープンキャンパスの効果研究  
——九州地区国立4大学によるベンチマーキングを通じて——」  
三好 登，望月 聡（大分大学），福井 寿雄，西郡 大（佐賀大学），  
吉村 宰，當山 明華（長崎大学），藤井 良宜（宮崎大学）

④ 14：30～14：50

「学部の魅力はどう伝わっているか ——オープンキャンパスアンケート分析からの知見——」  
保坂 雅子，山田 美都雄（琉球大学）

（14：50～15：00 休憩）

⑤ 15：00～15：20

「富山大学における入試広報戦略」  
船橋 伸一（富山大学）

⑥ 15：20～15：40

「中国人留学生の日本の大学への進学行動  
——Push-Pull 要因分析を通じた留学生獲得のための入試広報戦略——」  
三好 登（大分大学）

⑦ 15：40～16：00

「アドミッション・ポリシーの具体化に関する現状」  
齋藤 朗宏（北九州市立大学）

⑧ 16：00～16：20

「入試広報戦略策定に関する一考察  
——入試データベースの利活用および大学組織における連携を中心として——」  
大竹 洋平（お茶の水女子大学）

⑨ 16：20～16：40

「新しいタイプのアドミッションオフィサーの役割 ——入試広報に関する挑戦——」  
鈴木 律子，藤 修（山梨大学）

## 【第8セッション】〔高大接続, 高大連携, 志願者動向〕

日 時：5月26日（土）13：30～16：20  
会 場：電気通信大学 B棟101講義室  
司 会：永田 純一（広島大学）  
内田 照久（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「米国における高大接続を見据えたカリキュラム改革  
——ハワイ州を事例に——」

永田 純一, 杉原 敏彦, 高地 秀明（広島大学）

② 13：50～14：10

「大学入学者選抜における外国・国際資格の評価方法及び認証枠組みの開発  
——UK NARIC と UCAS の役割・機能及び評価方法の比較を中心として——」

飯田 直弘（北海道大学）

③ 14：10～14：30

「センター試験利用による私立大学出願の特徴と年次推移」

内田 照久（大学入試センター）, 橋本 貴充（帝京大学）

④ 14：30～14：50

「地域系学部の入試動向に関する考察

——新設の地域系学部と鳥取大学地域学部の入試動向から——」

山田 貴光（鳥取大学）

（14：50～15：00 休憩）

⑤ 15：00～15：20

「大学入試センター試験を課さない入試による入学者の特徴  
——入学時調査から見えること——」

和久田 千帆（島根大学）

⑥ 15：20～15：40

「受験者の意思決定要因としての大学教育情報の役割

——入学および学びの動機づけとしての理念, AP の在り方——」

平 知宏（大阪市立大学）

⑦ 15：40～16：00

「多面的・総合的な評価に関する高校の取り組みと教科毎の評価の観点  
——3県の高校教員に対する調査結果の報告——」

宮下 伊吉（三重大学）

⑧ 16：00～16：20

「山梨高大接続研究会（高大研）の取組と今後の展開

——なぜ 毎回40名以上の参加者が集まったのか——」

藤 修（山梨大学）

# 大学入学者選抜改革エキスポ

日 時：5月26日（土）9時30分～16時45分

会 場：電気通信大学 講堂

趣 旨：

高大接続改革を実現するためには、各大学の入学者選抜において、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価することが必要である。

大学入学者選抜改革推進委託事業（平成28～30年度）では、「思考力・判断力・表現力」や「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価がより重視されることとなるよう、受託機関と連携大学等がコンソーシアムを組み、人文社会（国語科、地理歴史科・公民科）、理数、情報、主体性等に関する評価手法の開発に取り組み、その成果を普及することとしている（※選定機関は5機関。詳細は別紙「大学入学者選抜改革委託推進事業 選定機関」参照）。

本企画は2部構成とし、1部（午前の部）においては3年目を迎えた本事業各分野の2年目の進捗報告を、2部（午後の部）のテスト開発セミナー（人文社会・理数・情報分野）においては本事業各分野で開発中の高大接続改革（新テストの内容を含む）を踏まえた具体の評価手法や問題等を、現行のものと比較しながら解説する。また、主体性等評価開発セミナー（主体性等分野）においては、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をどう評価するのかについて検討状況を踏まえ解説する。フロアとの質疑応答等を通して本事業の最終成果が各大学の入学者選抜でより活用される実践的なものとなるよう本事業の成果及び課題を関係者と共有し、入学者選抜改革の一層の推進に寄与することを目的に実施する。

概 要：

<午前の部『成果報告』>

9:30～9:35 開会挨拶 :

幹事校 広島大学 理事・副学長(教育・東千田担当) 宮谷 真人

9:35～9:45 事業説明 : 文部科学省高等教育局高等教育企画課 専門官 吉岡 路

高大接続改革プロジェクトチーム

9:45～12:00 各取組の概要説明(質疑応答を含む)

9:45～10:10 ・人文社会分野(国語科) : 北海道大学

10:10～10:35 ・人文社会分野(地理歴史科・公民科) : 早稲田大学

10:35～11:00 ・理数分野 : 広島大学

11:00～11:25 ・情報分野 : 大阪大学

11:25～12:00 ・主体性等分野 : 関西学院大学

<午後の部『テスト開発セミナー（人文社会・理数・情報分野）』

『主体性等評価開発セミナー（主体性等分野）』>

13:30～13:50 大学入学共通テストでの問題例の説明 :

独立行政法人大学入試センター 審議役 大杉 住子

13:50～16:30 各教科における思考力の評価方法と問題例の解説

13:50～14:10 ・人文社会分野（国語科） : 北海道大学

14:10～14:30 ・人文社会分野（地理歴史科・公民科） : 早稲田大学

14:30～14:40 ・人文社会分野（国語科、地理歴史科・公民科）の質疑・意見交換

14:40～15:00 ・休憩

15:00～15:20 ・理数分野 : 広島大学

15:20～15:40 ・情報分野 : 大阪大学

15:40～15:50 ・理数分野、情報分野の質疑・意見交換

15:50～16:20 ・主体性等分野 : 関西学院大学、佐賀大学

16:20～16:30 ・主体性等分野の質疑・意見交換

16:30～16:45 講評 :

名古屋大学 副総長(入試・学生支援・図書館担当) 木俣 元一

---

■人文社会分野（国語科）9:45～10:10、13:50～14:10

- ・ テーマ：個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析評価手法に関する研究
- ・ 発表者：鈴木 誠（北海道大学・教授）、倉元 直樹（東北大学・教授）
- ・ 内 容：「国語」の入試問題は何を測るのか？

<午前の部『成果報告』>

- 研究の進め方「(チームA：北グループ，南グループ；チームB)」
- 新しい学習指導要領（チームA北），PISA（チームA南）と試験問題の分類
- 受験者の視点：試験問題が測定する能力とイメージについて（チームB）
- 最終年度の課題（各チームの成果の統合とモニター調査，成果の披露）

<午後の部『テスト開発セミナー（人文社会分野・国語科）』>

- テスト開発の基本（テスト・スタンダードから見た「良質なテスト」とは）
- 作題者の視点，受験者の視点：客観的検証の重要性
- テストの性質に関する統計的分析評価の方法
- 国立大学の入試問題におけるミッシング・ピースと「国語」の役割
- 新型試験問題開発の実際：成果と課題

---

■人文社会分野（地理歴史科・公民科）10:10～10:35、14:10～14:30

- ・ テーマ：地理歴史科・公民科における新たな入学者選抜・評価手法の検討
- ・ 発表者：佐藤 正志（早稲田大学・教授）、久保 純子（早稲田大学・教授）、都丸 潤子（早稲田大学・教授）、齋藤 純一（早稲田大学・教授）
- ・ 内 容：

<午前の部『成果報告』>

早稲田大学は、東京大学、一橋大学、同志社大学、関西学院大学とともに、「高大接続改革に資する、思考力・判断力・表現力等を問う新たな入学者選抜（地理歴史科・公民科）における評価手法の調査研究」として、本委託事業に取り組んでいる。ここでは、これまでの本取組の概要についての説明を行い、加えて、社会科科目（歴史）の各分科会から検討状況について報告する。

<午後の部『テスト開発セミナー（人文社会分野・地理歴史科・公民科）』>

本委託事業では、「思考力、判断力、表現力を問う社会科の入試が可能なのか」という問いに対し、科目ごとに思考力、判断力、表現力の定義を検討し、現在はそれに基づき試験問題を試作している。これまでの検討過程や成果について、社会科科目（地理、公共）の各分科会から報告する。

---

■理数分野 10:35~11:00、15:00~15:20

- ・テーマ：高大での教育改革を目指した理数分野における入学者選抜改革
- ・発表者：松浦 伸和（広島大学・教授）、木下 博義（広島大学・准教授）、影山 和也（広島大学・准教授）
- ・内容：大学入試の課題の解明ならびに入試形態別の評価方法・評価問題の提案

<午前の部『成果報告』>

成果の1つとして、高校・大学教員等を対象にアンケート調査ならびに面接調査を行い、大学入試における課題の一端を明らかにした。もう1つは、入試形態別の評価方法ならびに評価問題を開発、試行した。大規模例としては、思考力を問う理数テストを開発し、大学新入生等を対象として試行、分析した。小規模例では、実験・グループワークを取り入れたチャレンジ型入試を行い成果を検証した。それらの詳細を報告する。

<午後の部『テスト開発セミナー（理数分野）』>

大学の個別試験でもっとも頻度が高く用いられるペーパーテストを例に取り、理数における思考力を評価する問題を、単に知識を対象とした問題と比較しながら提案する。

さらには、理数における思考力の捉え方や考え方、採点や結果の分析方法についても言及することで、包括的なテスト開発を各大学で行うことができることを目指す。

---

■情報分野 11:00~11:25、15:20~15:40

- ・テーマ：思考力・判断力・表現力を評価する作題手法と作題例
- ・発表者：午前 萩原 兼一（大阪大学・特任教授）、午後 久野 靖（電気通信大学・教授）
- ・内容：

<午前の部『成果報告』>

人それぞれが思い浮かべる「思考力・判断力・表現力」の概念は一般に異なる。そのような状況でこれらの評価に関して議論することは容易でない。情報分野チームでは、まず思考力、判断力、表現力の定義（構成要素）を提案した。次に、情報科の次期学習指導要領を参考に10分野のルーブリックを作成し、それぞれに内在する思考力等を明確にして、試験問題を作成することを考えている。また、思考力を評価する問題の幅を広げるために、試験をCBT（Computer Based Testing）システムを用いて実施することを試みる。そのため、CBT-V1システムを実装し、それを用いて実証実験を実施した。本講演ではこれらを概説する。

<午後の部『テスト開発セミナー（情報分野）』>

本講演では現在作成中の作題手法およびその手法に基づく問題の作題例について発表する。たとえば、記述を読解する思考力の場合でいえば、抽象的記述へのあてはめ、具体的記述からの一般化、定義の適用を具体例として設定し、それぞれの手法について作題手順と留意点を明示した。これらの手順を、情報科のドメインから選択した事項に対して適用することで、問題を作成する。



---

■主体性等分野 11:25~12:00、15:50~16:20

・テーマ：各大学の入学者選抜改革における課題の調査分析及び分析結果をふまえた改革の促進  
方策に関する調査研究と「主体性等」をより適切に評価する面接や書類審査等 教科・  
科目によらない評価手法の調査研究

・発表者：佐藤 真（関西学院大学教育学部教授）

時任隼平（関西学院大学高等教育推進センター専任講師）

尾木義久（関西学院大学アドミッションオフィサー・学長特命）

西郡 大（佐賀大学アドミッションセンター長・教授）

・内 容：

<午前の部『成果報告』>

委託事業では成果目標として『「主体性等」の評価尺度・基準の開発』、『ICT活用による入試モデルの構築』に取り組んでいる。SGH 甲子園を臨床研究の場とした調査・研究の成果進捗報告を行うとともに、主体性等を評価するためのツール「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」について紹介する。

<午後の部『主体性等評価開発セミナー（主体性等分野）』>

新しい学習指導要領における探求的な学びを含む新たな学びの評価への対応として、特に、「JAPAN e-Portfolio」に生徒が入力した学びのプロセスを含む情報をどう活用し、「主体性等」を評価するのかについて、検討状況も踏まえ、解説を行う。

佐賀大学（同事業アソシエイト大学）は、インターネット出願と連動し、選考書類の申請から採点作業までを電子的に取り扱うことができる「評価支援システム」の概要、「JAPAN e-Portfolio」との連携イメージについて紹介する。

# 大学入学者選抜改革推進委託事業

平成30年度予算額 2億円  
(平成29年度予算額 3億円)

本事業では、個別大学の入学者選抜において、「思考力・判断力・表現力」や「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価がより重視されることとなるよう、代表大学と連携大学等がコンソーシアムを組み、人文社会(国語科、地理歴史科・公民科)、理数、情報、面接・調査書等に関する評価手法の開発に取り組み、その成果を普及する。

○選定件数：5件

大学等数：21大学等(国立大学13、私立大学6、独法1、学会1)

(凡例)

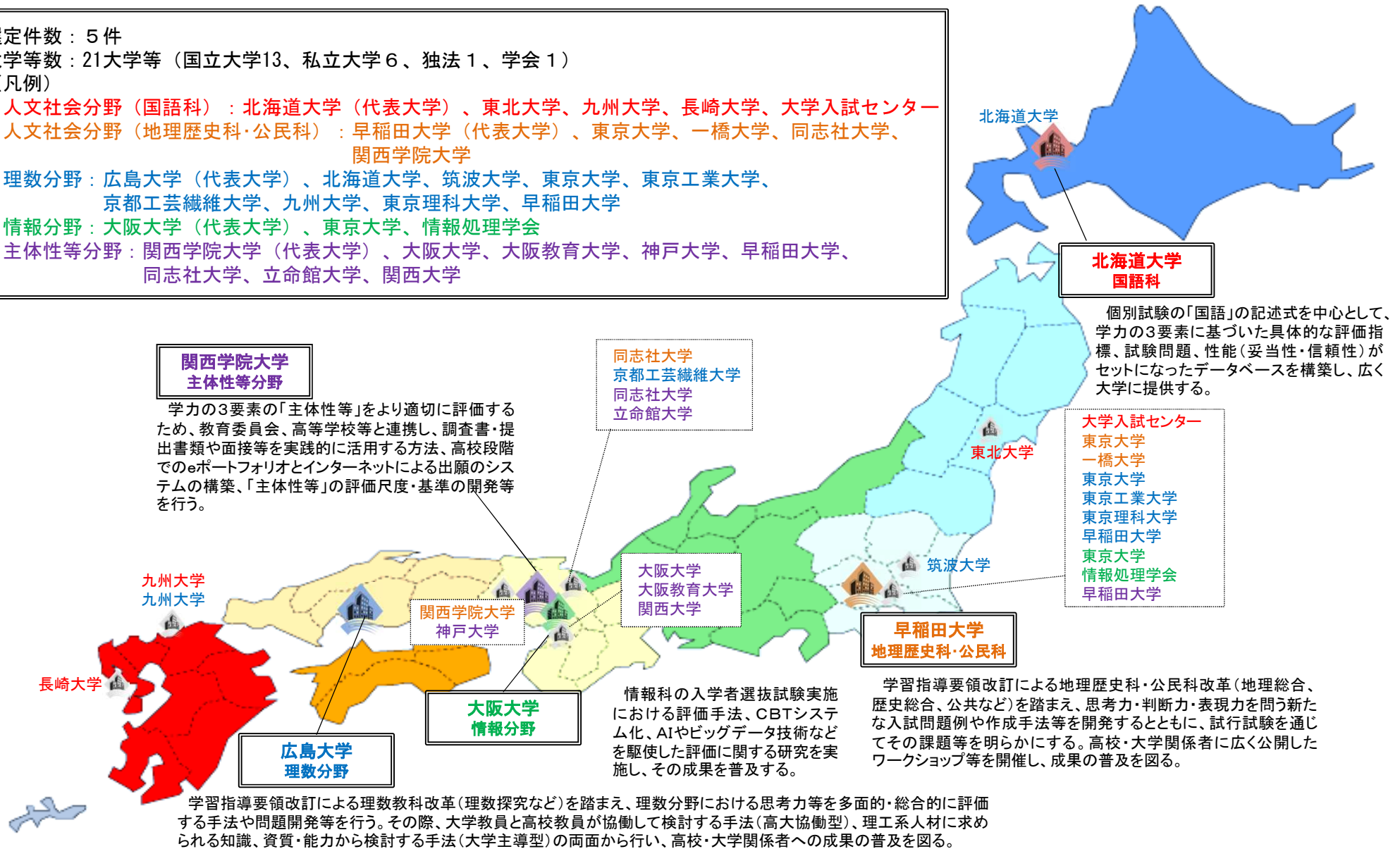
人文社会分野(国語科)：北海道大学(代表大学)、東北大学、九州大学、長崎大学、大学入試センター

人文社会分野(地理歴史科・公民科)：早稲田大学(代表大学)、東京大学、一橋大学、同志社大学、  
関西学院大学

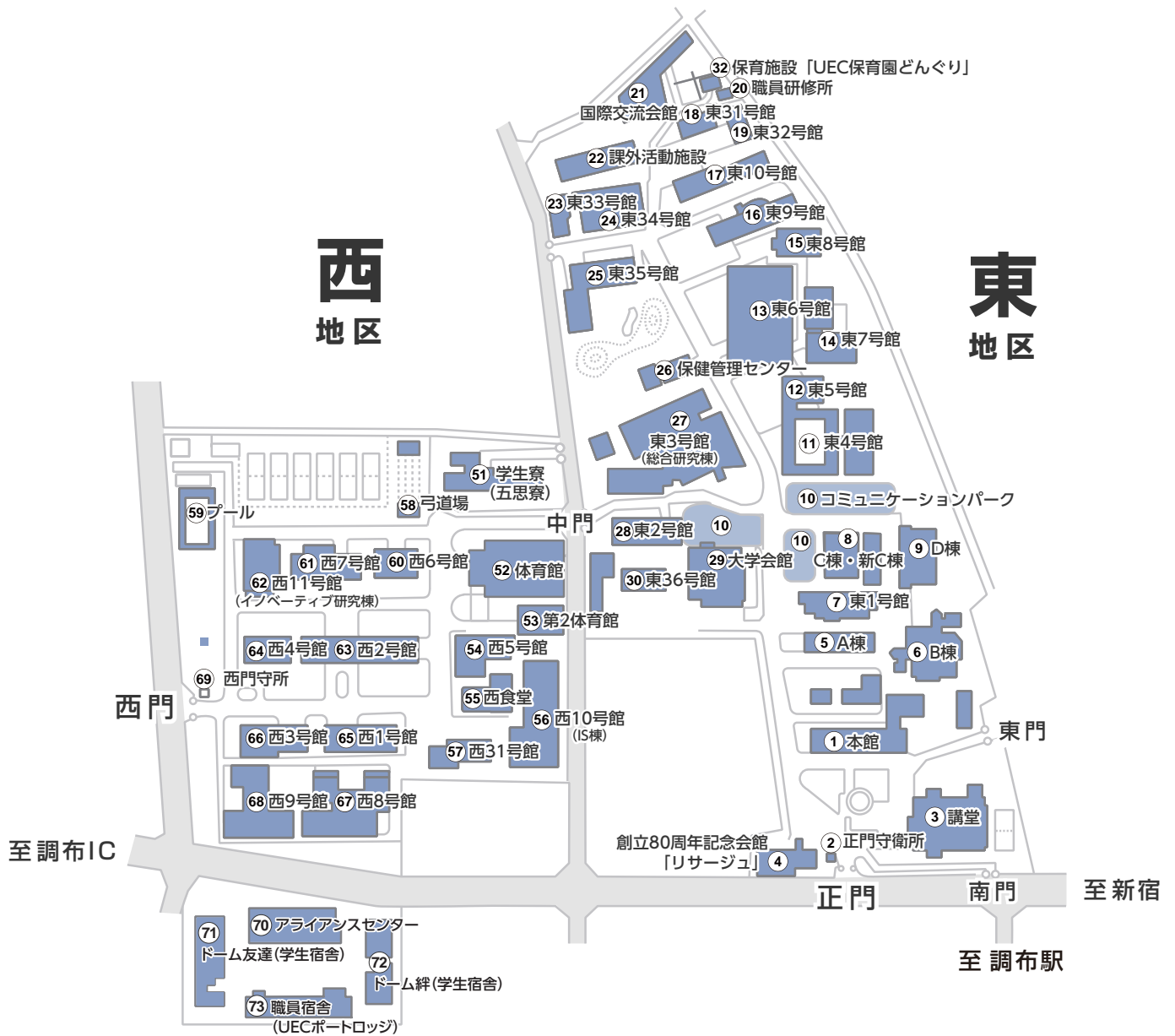
理数分野：広島大学(代表大学)、北海道大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、  
京都工芸繊維大学、九州大学、東京理科大学、早稲田大学

情報分野：大阪大学(代表大学)、東京大学、情報処理学会

主体性等分野：関西学院大学(代表大学)、大阪大学、大阪教育大学、神戸大学、早稲田大学、  
同志社大学、立命館大学、関西大学



# 電気通信大学アクセスマップ



- ②⑧ 国際交流センター
- ②⑦ 附属図書館
- ②⑦ 情報基盤センター
- ⑬ 研究設備センター
- ⑭ 産学官連携センター
- ⑰ 先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター
- ⑰ UECコミュニケーションミュージアム
- ⑥⑥ eラーニングセンター
- ⑥① レーザー新世代研究センター
- ②④ 社会連携センター
- ⑱ 燃料電池イノベーション研究センター
- ⑥② フォトニックイノベーション研究センター
- ⑥⑥ ユビキタスネットワーク研究センター
- ⑥② 先端超高速レーザー研究センター

